



平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 江藤 衆児

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	1,275	—	12	—	28	—	3	—
22年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	212.25	209.93
22年9月期第2四半期	—	—

(注)前第2四半期は連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の数値及びこれにかかる対前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	1,977	698	35.3	47,908.51
22年9月期	1,757	702	40.0	48,196.26

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 698百万円 22年9月期 702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	5.4	1	△94.2	8	△83.6	△18	—	△1,269.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 14,763株 22年9月期 14,763株
② 期末自己株式数 23年9月期2Q 191株 22年9月期 191株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 14,572株 22年9月期2Q 14,572株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記にし記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の今後の要因により、上記予想数値とは異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第2四半期連結累計期間)	5
(第2四半期連結会計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 仕入実績	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しの兆しが現れていたものの、東日本大震災による影響が大きく懸念され、厳しい状況となりました。

設備投資も持ち直し企業収益は改善されてきましたが、企業の業況判断は先行きの不透明さが懸念され慎重さがみられます。個人消費は、このところ横ばいとなっていますが、新車販売台数や旅行等については増加が見られ持ち直しの動きが見られるようになりました。しかし物価の動向は依然として緩やかなデフレ傾向にあるなか、原油価格の上昇や原材料の価格上昇による先行きの不安が懸念される状況となりました。このような中、東日本大震災による影響はさらに大きく景気を下ぶれさせるリスクとなりましたが、今後の復興に向けて景気が持ち直していくことが期待されます。

このような状況の中、当社グループでは、子会社プティパの取り扱う小分け食材が、個人客対象にバレンタイン時期と重なり、インターネットショップCottaを通してこれまでにない取引量となりました。当第2四半期連結会計期間における当社の新規顧客獲得件数は、7,058件(前年同期4,229件)となり、2月単月では3,074件(前年同期1,762件)の新規顧客の獲得となりました。また、注文件数は56,709件(前年同期46,365件)と大きく伸びました。しかしながら個人客の注文件数の伸びは、業者様向け出荷より作業負担が大きくなり、さらに全体の客単価の低下を伴い、収益性の確保については今後の課題となりました。また、子会社プティパは平成23年1月より宮崎市の新工場において、本格的に事業を開始することとなり、主に当社向けが中心ではありますが順調に稼働しております。総じて当社グループの業績は東日本大震災による影響も軽微であり、堅調に推移できたと考えます。

以上の結果、売上高1,275,051千円、営業利益12,013千円、経常利益28,061千円、四半期純利益3,092千円となりました。

なお、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、売上高及び各利益金額に関して前年同四半期との比較分析は行っておりません。(以下「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,027,353千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金465,253千円、受取手形及び売掛金91,434千円およびたな卸資産249,822千円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は、950,347千円であり、その主な内訳は、土地248,005千円、建物及び構築物509,941千円、のれん23,500千円であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は、378,939千円であり、その主な内訳は、支払手形及び買掛金157,866千円、短期借入金50,000千円、1年内返済予定の長期借入金33,468千円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は、900,163千円であり、その主な内訳は、社債500,000千円、長期借入金318,094千円であります。

(株主資本)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、698,598千円であり、その主な内訳は、資本金281,875千円、資本剰余金241,234千円、利益剰余金181,869千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、営業活動により増加した資金37,732千円、投資活動により使用した資金124,963千円、財務活動により増加した資金125,066千円により、288,253千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

個人客によるクレジット決済の増加にともなう売上債権の増加46,907千円、法人税等の支払額18,680千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益の27,061千円に加え、減価償却費29,508千円の計上、仕入債務の増加53,478千円などによる資金の増加により、営業活動により増加した資金は37,732千円となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

子会社プティパの工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出107,168千円、無形固定資産の取得による支出11,381千円などにより、投資活動に使用した資金は124,963千円となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

長期借入金の返済による支出14,613千円、配当金の支払額6,755千円などによる資金の減少に対し、長期借入れによる収入100,000千円、短期借入れによる収入50,000千円の資金の増加により、財務活動により増加した資金は125,066千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月15日に発表いたしました連結業績予想についての変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	465,253	427,417
受取手形及び売掛金	91,434	73,850
有価証券	50,000	50,000
たな卸資産	249,822	254,290
未収入金	144,268	102,344
その他	28,045	19,129
貸倒引当金	△1,470	△1,370
流動資産合計	1,027,353	925,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	509,941	425,921
土地	248,005	247,776
その他(純額)	83,662	47,159
有形固定資産合計	841,608	720,857
無形固定資産		
のれん	23,500	26,500
その他	58,385	63,605
無形固定資産合計	81,885	90,105
投資その他の資産	26,853	21,339
固定資産合計	950,347	832,302
資産合計	1,977,701	1,757,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	157,866	104,387
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	33,468	26,772
未払法人税等	24,237	20,021
ポイント引当金	17,929	15,625
賞与引当金	10,610	10,795
その他	84,826	84,076
流動負債合計	378,939	261,679
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	318,094	239,403
その他	82,069	54,567
固定負債合計	900,163	793,970
負債合計	1,279,102	1,055,649

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,875	281,875
資本剰余金	241,234	241,234
利益剰余金	181,869	186,062
自己株式	△6,857	△6,857
株主資本合計	698,122	702,315
新株予約権	475	—
純資産合計	698,598	702,315
負債純資産合計	1,977,701	1,757,965

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,275,051
売上原価	851,987
売上総利益	423,063
販売費及び一般管理費	411,050
営業利益	12,013
営業外収益	
受取利息	765
協賛金収入	22,018
その他	863
営業外収益合計	23,646
営業外費用	
支払利息	6,870
その他	728
営業外費用合計	7,598
経常利益	28,061
特別損失	
訴訟関連損失	1,000
特別損失合計	1,000
税金等調整前四半期純利益	27,061
法人税、住民税及び事業税	22,836
法人税等調整額	1,131
法人税等合計	23,968
少数株主損益調整前四半期純利益	3,092
四半期純利益	3,092

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	626,967
売上原価	424,199
売上総利益	202,768
販売費及び一般管理費	212,874
営業損失(△)	△10,106
営業外収益	
受取利息	511
協賛金収入	18,943
その他	437
営業外収益合計	19,893
営業外費用	
支払利息	3,567
その他	345
営業外費用合計	3,912
経常利益	5,874
税金等調整前四半期純利益	5,874
法人税、住民税及び事業税	12,145
法人税等調整額	△3,641
法人税等合計	8,503
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,629
四半期純損失(△)	△2,629

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成22年10月1日
 至 平成23年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	27,061
減価償却費	29,508
のれん償却額	3,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△185
貸倒引当金の増減額(△は減少)	100
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,304
受取利息及び受取配当金	△765
支払利息	6,870
売上債権の増減額(△は増加)	△46,907
未収入金の増減額(△は増加)	△12,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,468
仕入債務の増減額(△は減少)	53,478
その他	△3,196
小計	63,136
利息及び配当金の受取額	572
利息の支払額	△7,296
法人税等の支払額	△18,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△50,000
有価証券の償還による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△107,168
無形固定資産の取得による支出	△11,381
投資有価証券の取得による支出	△2,000
その他	△4,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	50,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△14,613
配当金の支払額	△6,755
その他	△3,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,066
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,835
現金及び現金同等物の期首残高	250,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	288,253

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績を取扱商品区分別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品区分別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
食材(千円)	46,358
合計(千円)	46,358

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社グループは単一セグメントであり、セグメントを記載しておりませんので、取扱商品区分別により記載しております。
 3. 当社は前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期累計期間との比較は行っておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
鮮度保持剤(千円)	86,118
菓子・パン包装資材等(千円)	572,950
弁当容器資材等(千円)	85,567
食材(千円)	57,641
合計(千円)	802,278

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社グループは単一セグメントであり、セグメントを記載しておりませんので、取扱商品区分別により記載しております。
 3. 当社は前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期累計期間との比較は行っておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
鮮度保持剤(千円)	155,002
菓子・パン包装資材等(千円)	898,178
弁当容器資材等(千円)	109,510
食材(千円)	106,662
小計(千円)	1,269,353
受取手数料(千円)	5,697
合計(千円)	1,275,051

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社グループは単一セグメントであり、セグメントを記載しておりませんので、取扱商品区分別により記載しております。
 3. 当社は前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期累計期間との比較は行っておりません。